

2016年6月

体験学習室 No. 12

けんぱくものしりシート

おてだま



おてだまは、小さな布の袋の中に小豆やじゅず玉等を入れたおもちゃです。
おてだまは女の子の遊びでした。いくつかの玉を空中に投げて遊ぶ姿は、
まるで手品師のようでもあります。女の子たちは最初はうまくできませんが、
くり返し練習するとある日突然できるようになりました。

いろいろな形のおてだま



まくら型



ざぶとん型



たわら型



かます型 (※)

おてだまの歴史

※かます…ワラで編んだ、米や塩などを入れる袋。

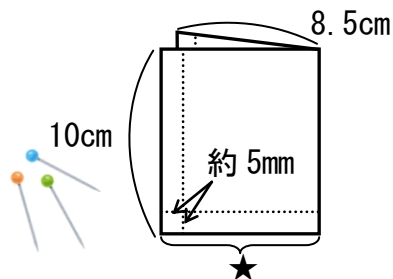
おてだまのルーツは奈良時代に中国から伝えられた、小石をつかった「石なご」という遊びだと言われています。石なごは身分の高い人の遊びでしたが、平安時代になると一般の人々にも伝えられ、日本各地に広がります。やがて、江戸時代後半には布で作ったおてだまが登場しました。



おてだまはお家にある布を使ってお母さんや、
女の子が自分で作りました。ここで、おてだま
の作り方のひとつをご紹介します。

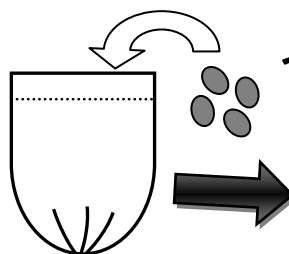
おてだまの作り方 (たわら型)

- ① 長方形の布を半分に折り、点線をぬう。
(★部分はぬったらぎゅっとしぼりとめる)



- ② ウラ返しにし、あずき等を入れる。

点線をぬってぎゅっとしぼり、
中に端を入れてとじる。



できあがり!

おてだまのあそび方

●●●●● 投げ玉 ●●●●●

2個、3個あるいはもっと
多くの玉を両手に持ち、空
中に投げてあやつります。



おてだまを歌にあわせて投げあげたり、
と取ったりして遊びます。
遊び方は大きく分けて2つあります。

●●●●● つき玉 ●●●●●

やや大きい親玉(1個)と小玉
(5~6個)を用意します。

親玉を投げあげ、それが落ち

てくる間に、床にばらまいた

小玉を拾い集めて遊びます。

あなたのお家のおばあさんがおてだま名人かもしれません。おてだま遊び
は脳を刺激して集中力があがるほか、最近ではお年寄りの認知症予防とし
ても注目されています。大人や男の子でもぜひ一度遊んでみてくださいね。

参考 『お手玉 OTEDAMA』 文溪堂 1997年

『子どもに伝えたい伝承あそび一起源・魅力とその遊びかた』 萌文書林 2009年他

来月(7月)の
けんぱくものしりシートは
地質-13だよ!
おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>